

発行 一般財団法人 田澤記念館  
住所 佐賀県鹿島市大字高津原434番地  
発行責任者 平野重徳・田中 勉  
発行所 鹿島印刷株式会社  
発行日 2014年10月1日

### 若者に期待して ～ユースカレッジ講師と内容～

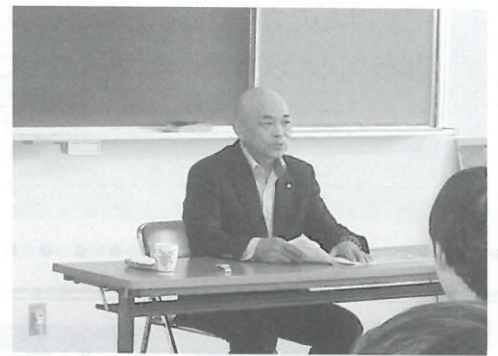
26年度 ユースカレッジは9月で4回目を終えた。講師陣もさまざまな体験を持ち、現在もはつらつと各界で活躍の方々に依頼している。1つの仕事に就くと専門的な知識や技術は身につくが、将来期待される青年たちが、広い視野でものを観察し思考力を深め多様な対応ができることがユースカレッジの到達目標である。

◆6月の開講式…鹿島警察署内の交通安全協会事務局長の草場吉文氏から、「最近の道路交通法一部改正のあらまし」について詳細に説明があり、若者の交通事故防止と安全な社会生活ができるよう、細かい留意事項を分かりやすくお話しいただいた。

◆7月研修…青年団OBで、佐賀県青年団長を務めた小池幸照氏が講演。「今の若い人に期待すること」と題して、今だ情熱冷めぬ力いっぱい講話をいただいた。時代がどんなに変わろうとも、若者として生きる姿勢に変わりはないことを力説。

◆8月研修…かつて青年団活動に打ち込んだ経験を持つ狩峰初好氏の「一度っきりだよ人生は」と題しての講演があった。狩峰氏は複数の職場で勤務した経験を元に話された。特に、「人間関係をスムーズにするために相手の名前を早く記憶すること」が大事だと。狩峰氏は鹿島市文化連盟「尺八」の講師。多くの施設へ慰問演奏を続けている。共に活動している研修生がいて、民謡と尺八の思わぬ共演となった。

◆9月研修…保育園の園長でご住職でもある中村一之氏に、「いのちの理由」と題して講話をいただいた。「三命」について、親から受け継ぎ授かった生きる力を与えられた尊い命。苦闘しながらこの世を生きる力。縁ある人々に喜んでいただけることを目的とした命。続いて「生活信条」5つが示された。もしかしたら自分が間違っているのではないか。人生をお任せできる人がいるか。計量できない働きを実感出来るか。自己の役割。相手の心の痛みが受け止められるかなど、90分に及ぶ講義に研修生は聞き入っていた。



講師の中村一之氏

### 「下村湖人」生家を訪ねて

本名「下村虎六郎」。いわゆる下村湖人先生は小説「次郎物語」の著者で有名。これまでに4度映画化された。作品の中で、田澤先生を田沼先生として登場させ、田澤先生の思想や言動を再現している。下村湖人先生は田澤先生と共に熊本第五高等学校、東京帝国大学共に学び、田澤先生は官僚の道を、下村湖人先生は学校教育への道を歩くが、晩年は田澤先生と共に青年教育に情熱を注ぎ、世界に誇り得る日本国家建設の大きな力となるべく努力した。

下村湖人先生はまた、絶筆となった田澤先生の貴重な伝記「この人を見よ」を執筆。田澤先生の誕生から59歳の短い生涯における青年教育と国民への正しい政治運動の燃えるような意志と言動を詳細に描き記している。田澤先生を知る貴重な著書として今も愛読されている。

下村湖人生家には26年度から新館長の島英彰氏が就任され、下村湖人先生の人となりや田澤先生との関わりなど、ていねいな説明を受けた。

### 蜃気楼の街 富山県魚津市へ

### ～書籍「この人を見よ」発送～

3年前に富山県魚津市「澤崎市長」がはるばる記念館を訪問。田澤生誕125記念大会では力強いご支援をいただいた。澤崎市長は若い時、地域のために大いに力をつくし、はつらつとした青年活動の経験をもつ堂々とした風格に加わえ、心温いお人柄である。

8月末、同市長から「この人を見よ」20冊の注文があり、さっそく、遥か「蜃気楼の街」富山県魚津市へお送りした。

### 記念館看板新装なる

田澤記念館 正門▶

創設以来32年。風雪に耐えて正門にかけられていた「田澤記念館」の看板を一般財団に移行したことも加わり、新規に製作し取り替えた。

多くの青年達の気合のこもった声を聞き、はりきって行動する姿を長く見つづけてきた看板。文字を読み取れない状態に老朽化した。田澤生誕130年記念大会を来年に控え看板と共に新たな気持ちで燃えて運営・研修に当たりたい。



# 私のサイダーできた!

## ～サイダー製造工場体験研修～

小城市にある「友樹サイダー製造工場」は、創業明治35年(1902年)。親子で始めた工場、今は多くの従業員が働いているが、温かい家庭の雰囲気が工場内を漂っている。地域の活性化の先頭を歩く会社である。

休日ともなれば、家族連れや大人のグループが見学体験に訪れる。少年クラブでは、まず見学と歴史の説明を受け、後半はサイダーが詰められた瓶に思い思いのラベルの絵を描いて、貼りつける体験をした。世界にたった1本のオリジナルのサイダーということで、クラブ員は大事そうに扱っていた。

この工場付近は名峰「天山」の伏流水が湧き出ており、多くの酒造会社や菓子製造会社が軒を並べている。故郷で頑張る小さな工場が、なんだかすばらしく大きく見えた。



オリジナルラベルづくり

### 少年クラブ サイダー工場見学の感想文

三年 水沼 桃

サイダー工場で多くの種類のサイダーがあり、おどろきました。サイダーびんに、どうやってふたをするのかなと思っていましたが、機械がものすごいスピードでふたをしていました。係の人の案内で工場見学と説明がすんで、オリジナルラベルづくりをしました。たった一つの大切なラベルですから、ていねいにかきました。びんにのりづけしたら、すばらしいサイダーができあがりました。うれしい体験学習でした。もう一度、今度は家族で行ってみたいです。

※ 一部漢字標記に修正

## 田澤生誕129年記念 感想画コンクール

7月21日、田澤記念館大研修室で恒例の感想画コンクールの表彰式を行った。今年で21回目となる今回のコンクールは、鹿島市内小学校7校を対象に募集。鹿島小をはじめ、能古見小・古枝小・浜小・七浦小学校の5校から合わせて211の作品が寄せられた。

学校の誠実で熱心な取り組みがいずれの絵画にも表れていた。「ふるさとの活性化」について安倍首相は、これまで以上に力を入れた政策を行うと言明した。田澤精神が、今再び脚光を浴びることはこの上ない感動である。

入賞作品は鹿島市内にある「ピオ店」で約11日間展示され、啓発に一役買った。

### 第21回 田澤義舗先生感想画コンクール受賞者名簿

#### 《最優秀賞》(5名)

鹿島小 5年 川崎海歩  
能古見小 6年 寺山聖礼  
古枝小 6年 植松健太  
浜小 6年 馬場春菜  
七浦小 6年 松本大智

#### 《優良賞》(10名)

鹿島小 5年 仁戸田佳之  
// 5年 前田宏八  
能古見小 5年 峯松義魅  
// 6年 松尾時継  
古枝小 5年 安永貴史  
// 6年 鶴史佳子  
浜小 6年 中島啓翔  
// 6年 中村怜奈  
七浦小 6年 岡涼祐  
// 6年 大島彩季

#### 《入選》(11名)

鹿島小 5年 岩本晟弥  
// 5年 橋口健太郎  
// 5年 山口優聖  
能古見小 6年 馬場郁弥  
// 6年 坂口凜  
古枝小 6年 乗田宇也  
// 6年 桂原拓輝  
浜小 6年 中島慈苑  
// 6年 本村美咲  
七浦小 6年 古賀幸平  
// 6年 中村風花



最優秀賞者

左から寺山聖礼さん・松本大智くん・植松健太くん

## 9月・10月の研修

### ●田澤少年クラブ 9月21日

『長崎県雲仙岳災害記念館研修』鹿島市からも遠望できる火山噴火によってできた平成新山の大火砕流と被害。自然の強大なパワーと、噴火の仕組みを施設での体験と被害状況をじかに観察して学ぶ。

### ●田澤ユースカレッジ(青年研修) 10月7日

多久市にある『孔子の里/多久聖廟』を訪ね、崇高な孔子の教えが、現代の我々の日常生活に今もなお生かされる意義を専門家の講義と資料により学ぶ。